

地域の人と一緒に「夏祭り」

達生堂グループの「夏祭り」が9月15日、すばる駐車場で盛大に開かれました。会場には、周辺の五助、上海道、逆井、上の宮の自治会の人たちを招き、城西病院や社会福祉法人「達生堂」の職員や利用者さまが一堂に集まって祭りを楽しみました。夏祭りは7月に予定していましたが、台風の影響で延期となりました。この日は、朝は雨模様の天気でしたが、開幕される午後には天候も戻り、達生堂グループエイサー隊の踊りで開幕。

夏祭り会場では、茨城産の豚や野菜をふんだんに使ったバーベキューが用意され、舌鼓を打っていました。会場には、ボーリングやストライクアウト、投げ輪、水球釣り「などの遊びも用意され、子供たちが次々とゲームにチャレンジしていました。

今年は、自治会対抗紅白玉入れとかき氷早食い競争を行いました。玉入れは、20人が一組になって玉入れを競い合いました。入った玉の数を数えると、1個違いの僅差のゲームもあり、白熱していました。早食い競争は、各自治体から食自慢の選手が選ばれて、制限時間内にどれだけかき氷を食べられるかを競い合いました。会場からは出場選手を励ます拍手が贈られ、こちらもデッドヒートが繰り返されました。

平成 30 年 9 月 19 日



ボランティアとして駆け付けた結城看護専門学校の学生たち。
達生堂グループの多田正毅理事長（前列中央）を囲んで